

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|-----------------------------|--------------|-------------------|--------------------------------|--|
| 家計 動向 関連 (北海道) | ◎ | 一般小売店 [酒]（経営者） | 単価の動き | ・緊急事態宣言が10月1日から解除されたことで売上が回復基調にある。特に高額商材の販売量が増えている。客先の飲食店では1人の客が1回で10万円以上使うといった話も珍しいことではなくなっている。 |
| | ◎ | 美容室（経営者） | 来客数の動き | ・緊急事態宣言が解除されたことで、旅行や文化サークルなどが再開されるようになっており、人の動きが活発化している。それに伴って客の来店頻度も高くなってきている。関連商材の売上也増えている。 |
| | ○ | 商店街（代表者） | 来客数の動き | ・緊急事態宣言が解除されたことで景気はやや良くなっている。ただ、前年と比べると来街者数、来客数は減っている。 |
| | ○ | 商店街（代表者） | お客様の様子 | ・行動制限や時短営業が緩和されたことで徐々に人出が増え始めた。しかしながら、様子をうかがって恐る恐る出掛けているのが現状であり、一気に回復という雰囲気には程遠い。宴会の予約も顕著にみられるようになってきているが、少人数のグループばかりであり、店側も細かい対応を求められるなど、大変そうである。また、休業や時短営業によってアルバイトを解雇した飲食店がほとんどであるため、いざ忙しくなっても人手不足で対応できないことも多い。複数の店舗を運営している飲食店では、人手不足でまだに一部の店を休業している。さらに、商材や燃料の価格高騰や品不足、部品不足などによって、店舗にも多大な影響が生じている。 |
| | ○ | 百貨店（売場主任） | 来客数の動き | ・10月の前年比をみると、9月と比べて改善傾向がみられる。10月に入り、緊急事態宣言が解除されたことで来客数が増えており、気温の低下に伴って防寒衣料へのニーズも出てきている。また、緊急事態宣言中は自粛していた催事イベントについても、新型コロナウイルスの感染対策を十分に採った上で実施できるようになったことで、来客数の増加につながっている。 |
| | ○ | 百貨店（販売促進担当） | 販売量の動き | ・緊急事態宣言が解除されたことで、来客数が伸びており、買上客数も増加傾向にある。 |
| | ○ | 百貨店（営業販売促進担当） | 来客数の動き | ・催事を開催できたこともあり、来客数が前年を超えた。長らく不調だった衣料品にも動きがみられる。 |
| | ○ | 百貨店（マネージャー） | 来客数の動き | ・直近3か月の来客数の推移をみると、8月が前年比83%、9月が同91%、10月が同96%となっており、着実に上向きになってきている。 |
| | ○ | スーパー（店長） | 販売量の動き | ・緊急事態宣言の解除後、気温が低下していることもあって、衣料品の動きが良くなってきている。また、修学旅行などの学校行事が再開していることで、トラベル関連商材が大きく伸長している。 |
| | ○ | コンビニ（エリア担当） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスの新規感染者数が減ったことで、客の動向が変わっており、来客数にも反映されつつある。景気はこのまま上向きになるとみられる。 |
| | ○ | コンビニ（エリア担当） | 販売量の動き | ・飲食店向けの販売を行っている店舗も多いため、酒類提供に係る時短要請が緩和されたことなどで、酒類を中心に販売量が増えている。景気は回復基調に転じている。 |
| | ○ | コンビニ（店長） | お客様の様子 | ・金曜の夕方や夜間、土日の日中の来客数が緊急事態宣言の期間中と比べて増えている。飲み会帰りや行楽客とみられる客が明らかに増加している。 |
| | ○ | 家電量販店（店員） | 販売量の動き | ・前年と比べて、来客数も客単価もアップしている。10月後半からは暖房機の販売にも活気が出てきている。 |
| | ○ | 自動車備品販売店（店長） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスの新規感染者数が落ち着きを見せていることで、来客数が前月と比較して5～10%増加してきている。 |
| | ○ | 高級レストラン（スタッフ） | 来客数の動き | ・行動制限が解除されたことで、客に動きがみられるようになりつつある。 |
| ○ | 観光型ホテル（スタッフ） | 来客数の動き | ・地方自治体の需要喚起策を活用した予約が堅調に推移している。 | |

| | | | |
|---|----------------|--------|--|
| ○ | 旅行代理店（従業員） | 来客数の動き | ・緊急事態宣言が解除されたことで、航空機利用の団体旅行が回復し始めた。また、観光需要喚起策として、北海道の新しい旅のスタイルや各市町村の支援策も再開され始めており、アフターコロナに向けた動きが拡大してきている。 |
| ○ | 旅行代理店（従業員） | 来客数の動き | ・緊急事態宣言が解除され、新規感染者数が少なくなったことに加えて、北海道独自の旅行代金割引制度が再開されたことで、来客数、新規予約客のいずれも増えてきている。 |
| ○ | 旅行代理店（従業員） | お客様の様子 | ・緊急事態宣言の解除後、来客数や問合せ件数が増えてきている。 |
| ○ | タクシー運転手 | 来客数の動き | ・緊急事態宣言が解除され、10月1日から飲食店の酒類提供が時短要請付きで認められることになり、15日からは時短要請もなくなったことから、夜の人出が戻りつつある。タクシーの利用も増えており、1台当たりの売上も新型コロナウイルス発生前の水準に戻りつつある。ただ、乗務員不足でタクシーの稼働が前年より落ち込んでいるため、会社全体の売上は前年比マイナス5%となっている。新型コロナウイルス発生前の水準と比べると30%のマイナスとなっている。 |
| ○ | タクシー運転手 | 来客数の動き | ・緊急事態宣言が解除された直後から、夜間のオーダーが増えてきている。 |
| ○ | タクシー運転手 | 販売量の動き | ・緊急事態宣言が解除され、新規感染者数も抑えられていることから、徐々にではあるが、夜間の利用が回復してきている。 |
| ○ | タクシー運転手 | お客様の様子 | ・緊急事態宣言が解除されてから、観光客を始めとした客の動きが若干上向き始めている。第6波を懸念する動きもあるが、このままの状況が続くことになれば売上の増加が期待できる。 |
| ○ | タクシー運転手 | お客様の様子 | ・緊急事態宣言が解除されたことで、週末の夜の人出が徐々に回復してきている。ただ、平日の夜の状況は変わっていない。タクシーの稼働状況についても前月の30%ダウンから10%ダウンまで改善しているが、衆議院選挙の告示に伴って人出が落ち込む傾向がみられた。 |
| ○ | 観光名所（従業員） | お客様の様子 | ・明らかに観光客とみられる人を目にする機会が増えてきている。また、年配客がメインの国内団体ツアーが少しずつ復活してきていることも復調の兆しと捉えている。 |
| □ | 商店街（代表者） | お客様の様子 | ・客の様子をみると、緊急事態宣言期間中にため込んだ金を少しずつ使い始めている傾向がみられる。 |
| □ | 商店街（代表者） | 来客数の動き | ・緊急事態宣言が解除されたものの、当地を訪れる客の数は増えていない。当地を訪れる客の多くが高齢者ということもあり、年金受給月である10月には冬物衣料などの購入に伴って、来街者数が若干増加すると見込んでいたが、街中を見渡す限りでは増加していない。また、道内からの旅行者とみられる車もまばらであり、土産店や交通事業者においても売上増加の兆候はみられない。 |
| □ | 一般小売店〔土産〕（経営者） | 販売量の動き | ・10月の売上は前年比81.9%であった。前々年比でみると9月は21.7%であったものが、10月は35.1%となっていることから、景気はやや良くなっている。ワクチンの接種率が70%に達したことで隣接市からの客も少しずつ戻ってきている。 |
| □ | スーパー（店長） | それ以外 | ・8～9月と比べると回復してきているが、緊急事態宣言の発令によって大きく落ち込んでいたものが元に戻ってきただけである。来客数は前年並みの水準まで回復しておらず、こうした状況はしばらく続くことになる。 |
| □ | スーパー（企画担当） | お客様の様子 | ・緊急事態宣言の解除に伴って、百貨店、外食、飲食店の利用客が増加している一方で、食品スーパーの利用客が相対的に落ちついてきている。特に好天となった週末はそうした傾向が顕著にみられた。 |

| | | | |
|---|----------------------------|--------|--|
| □ | 衣料品専門店 (店長) | お客様の様子 | ・自粛期間が明けて外出や出勤の機会が増えてきていることで、サイズが合わなくなったスーツを仕方なく買い換える客が増えている。ただ、客単価は上がっていないため、現在の販売状況は一過性のものとみられる。 |
| □ | 乗用車販売店 (従業員) | 販売量の動き | ・9月決算のため、10月の販売量が落ち込む傾向にあるが、今年は8割くらい水準にとどまっており、流れとしてはそれほど悪くないが、特別良くもない状況にある。ただ、来場する新規客が伸びていないことから、新型コロナウイルスの影響を考慮しても来客数が少なかったというのが正直なところである。 |
| □ | 乗用車販売店 (従業員) | 販売量の動き | ・自動車業界において生産遅れがみられるものの、新車受注は前年並みで推移している。中古車は下取り台数が減少しているが、限られた車両のなかで販売をつなぐことができしており、前年並みで推移している。 |
| □ | その他専門店 [ガソリンスタンド] (経営者) | 販売量の動き | ・原油価格の高騰に伴う石油製品価格の高騰により、1回当たりの販売量が減少している。 |
| □ | 高級レストラン (スタッフ) | 販売量の動き | ・2年前の5割ほどの売上となりそうで、景気はやや悪い。しかしながら、客は着実に戻ってきている。緊急事態宣言が解除され、まん延防止等重点措置も適用されていないことから、ランチの売上が例年の6～7割となる日もみられるようになってきた。ただ、夜の販売量はいまだ回復していない。コロナ禍以前に利用の多かった熟年層の客もかなり少ないままである。また、予約客が主流であり、振り客が少ない。これまでのマイナスも大きいため、従業員を簡単に増やすことはできないが、来客数の多い日は人手不足で料理提供に遅れが出るなど、客に迷惑を掛けていることから、来春以降はパートなどを増やすことも検討している。 |
| □ | 高級レストラン (スタッフ) | 来客数の動き | ・緊急事態宣言期間中と解除後で客の動きに大きな変化はみられない。ワクチン接種の効果で新規感染者数が急激に減少したとはいえ、感染が再拡大することへの危機感も強く、様々な対策を講じてもすぐに景気が良くなるとは考えにくい。 |
| □ | 観光型ホテル (経営者) | 来客数の動き | ・緊急事態宣言は解除されたものの、予約の伸びの鈍い状態が続いている。北海道による旅行代金割引制度が始まったものの、利用できる地域が限定されること、割引原資の割当枠が小さいことから、業績を回復させるほどの効果は感じられない。引き続き厳しい集客状態となっている。 |
| □ | 旅行代理店 (従業員) | 販売量の動き | ・景気は悪いまま変わっていない。衆議院選挙を控えて、経済が止まっている状態にあるため、販売量も増えてこない。 |
| □ | 美容室 (経営者) | 販売量の動き | ・売上は3か月前とほぼ変わっていない。 |
| □ | 住宅販売会社 (経営者) | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスが徐々に終息してきているため、先行きについて明るい兆しが見られるようになってきているが、大きな影響を受けている業種と好調な業種がみられるなど、業種によって状況が異なるため、全体的な景気は変わっていない。 |
| □ | 住宅販売会社 (経営者) | お客様の様子 | ・現在、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていることもあり、客が安心してモデルルームに来場するようになり、ようやく普通に商談ができるようになってきた。やはり不動産などの込み入った商談はリモートよりも対面が望ましい。 |
| ▲ | 商店街 (代表者) | 販売量の動き | ・春からの天候不順の影響で果物の不作があちこちで見られることから、景気はやや悪い。また、原油価格の高騰に伴って、あらゆる原料の仕入価格が上がり始めていることもマイナスである。 |

| | | | | |
|----------------|---|----------------------------------|------------|---|
| | ▲ | スーパー（企画担当） | 販売量の動き | ・9月末までの緊急事態宣言が解除され、自粛生活から解放されることで、経済活動が活発になり、それに伴って内食需要が落ち込むことを想定していたが、実際には販売量が増えている。ただ、来客数は前年をやや下回っており、客が自粛生活を継続しているためとみられる。 |
| | ▲ | スーパー（役員） | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスの新規感染者数が激減していることで、人の動きが活発になってきた。外食をする人が増えていることで、内食需要が落ち込んできている。 |
| | ▲ | スーパー（従業員） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う来客数の減少や買上頻度の低下が前年から継続しており、底がみえない状況にある。 |
| | ▲ | コンビニ（エリア担当） | 販売量の動き | ・緊急事態宣言が解除されたが、客の動きはまだまだ鈍い。また、たばこなどの値上げもあったため、若干ではあるが販売量が落ち込んでいる。 |
| | ▲ | 乗用車販売店（従業員） | 販売量の動き | ・新車の受注状況は3か月前と余り変わらないが、新型コロナウイルスの影響でメーカーの減産が続き、納車に遅れが生じていることから、売上が40%ほど減少している。 |
| | ▲ | その他専門店 [医薬品]（経営者） | 単価の動き | ・コロナ疲れがあるのか、景気回復につながらない負の力が感じられる。厳しい状況にある。 |
| | ▲ | 高級レストラン（経営者） | 来客数の動き | ・景気はやや上向きになってきている。新型コロナウイルスの新規感染者数が激減していることで段々と人の行動が活発になりつつあり、修学旅行者もみられるようになってきている。 |
| | ▲ | スナック（経営者） | 来客数の動き | ・10月から営業を再開しているが、元の状態に戻るような動きはみられない。営業しないよりは営業した方がよいことは確かなため、少しでも前向きに考えていきたい。 |
| | ▲ | タクシー運転手 | 販売量の動き | ・緊急事態宣言が解除されたとはいえ、消費者の行動はかなり慎重であり、前年の緊急事態宣言解除直後のような消費急増がみられる状態にはなっていない。 |
| | ▲ | 通信会社（企画担当） | 競争相手の様子 | ・価格を武器にした競合相手への乗換えが北海道全体で進んでおり、通信端末の契約者数が大きく落ち込んでいる。 |
| | ▲ | 美容室（経営者） | それ以外 | ・原油価格の高騰や最低賃金引上げの影響で、中小企業はどんどん追い詰められている。 |
| | ▲ | その他サービスの動向を把握できる者 [フェリー]（従業員） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスが終息してきていることの効果がほとんどみられない。例年と同様に観光シーズンのピークを過ぎたことで輸送量が落ち込んできている。 |
| | × | 乗用車販売店（経営者） | 販売量の動き | ・基幹産業の水産業が赤潮の影響で甚大な被害を受けていることで、関連する事業者に影響が広がっており、景気の減速が止まらない。新車の納期遅れによる影響も引き続き大きく、売上の減少に歯止めが掛からない。 |
| 企業 動向 関連 | ◎ | 食料品製造業（従業員） | 受注量や販売量の動き | ・10月の販売量は前年比マイナス2%となっているが、3か月前の7月の販売量は前年比マイナス39%であったため、景気はやや良くなっている。 |
| (北海道) | ○ | 家具製造業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・緊急事態宣言の解除によって人流が活性化しているため、景気はやや良くなっている。 |
| | ○ | 通信業（営業担当） | 取引先の様子 | ・新型コロナウイルスの感染状況が一旦落ち着いたことで、これまで留保していた案件の再始動やコロナ禍後の環境変化に対応した新規案件など、足元の客の動きが活性化している。 |
| | ○ | 金融業（従業員） | 取引先の様子 | ・緊急事態宣言の解除によって、これまで制約の多かった接触型産業を中心に経済活動が活発化している。また、北海道の新型コロナウイルス新規感染者数が減少していることで、消費マインドが改善しており、サービス消費が回復する動きもみられる。道内景気は、コロナ禍の影響が大きかった3か月前と比べてやや良くなっている。 |

| | | | | |
|-------------------|---|-------------------------------|--------------|--|
| | ○ | その他非製造業 〔鋼材卸売〕 (従業員) | 受注量や販売量の動き | ・ここ数か月、若干ではあるが、見込みよりも実際の売上が上回る状況が続いている。いまだ不安視していることもあるが、市場に動きが出てきていることから、景気はやや良くなっている。 |
| | □ | 食料品製造業 (従業員) | 受注量や販売量の動き | ・売上は3か月前と比較して特に変わっていない。 |
| | □ | 建設業 (役員) | 受注量や販売量の動き | ・工事の追い込み期に入り、今年度の完工高が積み上がりつつあるが、コロナ禍のなか、思うように受注が伸びていない状況にある。完工高、利益のいずれも年度計画に届かない状況に変わりはない。 |
| | □ | 輸送業 (支店長) | 受注量や販売量の動き | ・見込みほど受注量が落ち込んでいないことから、景気は変わらない。 |
| | □ | 司法書士 | 取引先の様子 | ・10月に入り、緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスの新規感染者数も減少するなど、一安心できる状況になったが、1日で景気が回復することにはならないため、景気は変わらない。ガソリンや食料品の値上げが相次いでいること、暖房が必要になる季節を迎えて灯油が値上がりしていることが、家計への打撃となっている。我慢の状況がもう少し続くことになる。 |
| | □ | 司法書士 | 取引先の様子 | ・新規感染者数の減少に伴って緊急事態宣言が解除されたこと、ワクチン接種が幅広い年代にまで浸透していることなどから、以前と比べて観光地では多くの人を見掛けるようになってきた。それに伴い観光業が主要産業である当地において徐々に景気が良くなることを期待しているが、今のところそうした動きを実感できない。 |
| | □ | その他サービス業 〔建設機械リース〕 (営業担当) | 受注量や販売量の動き | ・北海道内の建設工事量は、公共工事やそれに準ずる関連工事が順調に執行されていることもあり、コロナ禍にあってもそれほど落ち込まずに推移している。今後も例年どおりの傾向で推移するとみられる。 |
| | □ | その他サービス業 〔建設機械レンタル〕 (総務担当) | 受注量や販売量の動き | ・売上はほぼ前年並みで推移している。今後についても当面大きな伸びは生じないとみられる。 |
| | ▲ | 建設業 (従業員) | 受注価格や販売価格の動き | ・仕事量の少ない状況は変わっておらず、景気はやや悪い。改善の兆しもみられない。また、新型コロナウイルスの影響で工場の生産遅れが生じ、製品を思うように入手できないことから、建設工事に遅れが出ている。工期が伸びても、管理費などは据置きのままであるため、人件費が余計に掛かることが追い打ちをかけている。 |
| | ▲ | 輸送業 (営業担当) | 受注量や販売量の動き | ・ここ3か月、本州向け生乳の輸送量が大幅に減っている。乳製品関連では、粉乳やバターの在庫も相変わらず積み上がっている。消費の伸び悩みもあり、今後も同様の傾向が続くとみられる。また、ここに来て古紙不足によって、紙パルプ関連の生産にも影響が出始めている。 |
| | × | — | — | — |
| 雇用 関連 (北海道) | ◎ | — | — | — |
| | ○ | 人材派遣会社 (社員) | 求人数の動き | ・求人のお問合せが増えてきている。また、既存の取引企業においても新規求人数が少しずつ増えてきている。コロナ禍に落ち着きがみられることから、次の展開を見据えて企業が人材採用に動き出してきている。 |
| | ○ | 求人情報誌製作会社 (編集者) | 求人数の動き | ・新型コロナウイルスの影響を受けた業界の求人数が回復しつつある。飲食店、小売、宿泊などが様子見をしながらも募集を開始し始めた。ただ、人材の動きがやや鈍く、求職者が様子見している様子もうかがえる。 |
| | ○ | 求人情報誌製作会社 (編集者) | 求人数の動き | ・緊急事態宣言の解除により、業種を問わず、これまで抑制されていた経済活動が動き出している。新型コロナウイルス発生前の水準にはまだまだ及ばないが、少しだけ明るさが出てきている。 |

| | | | |
|---|--------------------|---------|--|
| ○ | 求人情報誌製作 会社（編集者） | 周辺企業の様子 | ・一次産業が基幹産業である当地において、例年秋は堅調に推移する傾向があり、今年も同様の動きがみられる。緊急事態宣言が解除されたことで、まだ弱い動きではあるが、飲食業界や観光業界に活気が戻りつつある。 |
| ○ | 学校〔大学〕 （就職担当） | 採用者数の動き | ・当大学の10月1日時点における新卒予定者の内定承諾状況をみると、見込みよりも数値が良いことから、企業側の内定出しと新卒予定者の内諾率が向上していることがうかがえる。新型コロナウイルスの終息もあり、大学生を取り巻く環境は少しずつ改善する兆しがみられる。 |
| □ | 求人情報誌製作 会社（編集者） | 求人数の動き | ・緊急事態宣言が解除され、新規感染者数も急激に減少しているものの、求人件数の伸びは今一つである。求職者の動きも鈍い。 |
| □ | 職業安定所（職 員） | 求職者数の動き | ・最近の傾向として、有効求職者数の高止まりがしばらく続いていることが挙げられる。状況が変わっていないことから、失業が長期化していることを懸念している。 |
| □ | 職業安定所（職 員） | 求人数の動き | ・当地における9月の有効求人倍率は0.86倍となっており、3か月前の6月と比べると0.02ポイント上回っている。 |
| □ | 職業安定所（職 員） | 求人数の動き | ・9月の有効求人数は前年から15.9%の増加となったが、新規求人数は前年とほぼ同じ水準となっている。 |
| ▲ | * | * | * |
| × | — | — | — |